

ほっとクリニック

町立金山診療所だより 89

金山町大字金山548-2 ☎52-2915



ドクターメッセージ

町立金山診療所
内科医長 鈴木 有太

今年度より町立金山診療所で内科を担当させていただいております鈴木有太と申します。これまで、最上町や飯豊町などで地域医療に従事してきました。その経験を生かして金山町での地域医療に貢献できるように努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

今回の『ほっとクリニック』では、高齢者の日常生活動作について、紹介したいと思えます。

日頃から高齢の患者さんの診療が多いために、日常生活動作 (Activities of Daily Living: ADL) という言葉がよく略されます。がどのくらいできるのかについて、意識して診察することを心がけております。簡単に表現すると、『普段の生活がどのくら

日常生活動作 (ADL) と診療

一人でできるのか、またはどのくらいお手伝いが必要としているのか』になります。日常生活動作 (ADL) がどのくらいできるかについては、リハビリテーションや介護、病院で一般的に用いられており、皆様も聞いたことがあるかもしれません。

日常生活動作は、①食事、②排泄、③整容、④移動、⑤入浴の5つの基本的な行動を指しています。食事を例にとると、『箸を使って一人で食事ができるか』『食品の加工が必要か (とろみを付けたり、食べやすいように刻む)』『家族の方に食べさせてもらう必要があるか』というように、患者さんの食卓がイメージできるように患者さんやご家族、介護師のみなさんに確認しています。他の4つの項目についてもお話を伺い、患者さんに

《ごあんない》

◎夕診は毎月4回になりました。

今年度から、夕診 (午後7時までの延長診療) を毎月第1、第2、第3、第4水曜日の4回に拡大しました。

担当医師は、第1と第3は山科明夫医師、第2と第4は鈴木有太医師です。(祝日は休診となります。)

今後どのような医療や介護が必要か参考にさせていただいております。ご高齢の方と一緒に生活されている、もしくは普段から介護をされている方々も多いと思います。ご家庭でも、上記の日常生活動作について確認していただくと、日常生活のどのような部分でお手伝いが必要なのか見えてくるかもしれません。参考にしていただければ幸いです。